



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー



熊本県緊急事態宣言終了(変わること・変わらないこと)

今週、17日に前倒しして終了しました。新聞記事では18日午前5時から熊本市中心部の酒類提供午後10時までの制限が解除され、不要不急の外出自粛要請もなくなりました。ただ、「感染が拡大している県外への移動は引き続き控えるように」という内容です。今回の宣言終了による子どもたちの学校生活の変化についてまとめてみました。

変わること

- ・熊本県のリスクレベルが4未満になった場合、同居の家族に発熱等の風邪症状が見られた場合でも本人に症状が見られないなら登校できる。
- ・授業では感染リスクの低い活動から徐々にコロナ対策をしながら実施可能。
- ・部活動でも感染リスクの低い活動から徐々にコロナ対策をしながら実施可能。教師等が活動状況の確認を徹底する。

変わらないこと

- ・登校前の検温やその記録。
- ・マスク着用、手洗い、換気、三密の回避。
- ・不必要的大声を出さない。接触をしない。
- ・感染症に関する偏見・差別に対して適切に対応する。
- ・体や心の健康の維持、向上。



熊本県では、感染者も減少傾向にあります。引き続き新しい生活様式を根付かせて、この局面をみんなで克服していきましょう。

演題「大切にすること・されること」

2月16日(火)の⑤⑥時間目

に2年生対象で実施した講演会の題名です。「リ・スタートくまもと」の富永 智子(とみなが ともこ)さんにデートDVについて話を聞いていただきました。

※「デートDV」とは結婚していない恋愛関係にあるカップルの間で行われるDV行為

約7割の生徒が「デートDV」を知りませんでした。また、下記の数字は講演を受ける前は、次のことが「悪いことではない(暴力ではない)」と思っていた人の割合です。

- 彼氏・彼女の行動をチェックする……約20%
- つきあっている2人の間では秘密や隠し事をしてはいけない……約35%
- 暴力を振るわれる方にも問題がある……約15%
- つきあっている時は、相手は自分のものである……約6%

学習後は「悪いこと、いけないこと」と考え方が変わっています。間違った情報に惑わされず正しく理解し、行動できることが大切です。

講演会を聞いた生徒の感想を一部抜粋して載せています。

- ・「相手のため」と思ってやったことが、相手にとってはイヤなことかもしれないのに、恋人同士の関係でなくとも、自分のイヤなことは伝え合えるような人間関係を築いていきたいと思います。

裏面に続きます

- ・相手と考え方や感じ方は違うので「イヤなことはイヤ」ときちんと伝えようと思いました。
- ・正直、性のことを軽く考えていました。でも、今日の講演を聞いて、性でいやな気持ちになっている人が少なくないということが分かったので、性について軽く考えてはいけないということを学びました。
- ・先生も話されていましたが「冷静に判断できても実際は分からぬ」からこそ、一度しっかりとDVなど性に関する講演を聴いておいて良かったなと思い、改めて正しく理解するということで良い時間だったと思いました。
- ・うまく言えないけど、正直に言うと「男女」の交際を「気持ち悪い」と思っていました。性に関する話は実はあまり好きではありません。

でも、今日の講演を聞いて、性に関する話を好きになった訳じゃないけど、そんな私たちこそ「知っておかなければならぬ話」なんだと思いました。性被害を受けてしまった人が周りのせいで傷つき心を閉じてしまうのか、それとも周りが解決してあげるのか。その人が不安な時、身近なところで寄り添うことでその人を助けられると思いました。助けられない環境にしない。その人を大切にして尊重する。私は自分も大切にするためにそうしたいと思いました。

なんというか「気持ち悪い」ことなのではなく、普通のことなんだと。

人権を学んでいるつもりだったけど、実は自分も差別をしていたんだなあ。と気づきました。もっと1人ひとりを大切にします。

講演ありがとうございました。

- ・暴力を振るわれている方は悪くない。少しでも怖い、いやだなと思ったら逃げていい。この2つのことは特に覚えておこうと思いました。また、もし、友達が相談してくれたら、しっかりと話を聞いて、電話で相談ができるところを教えようと思います。あと、心を傷つけるのも暴力だと知ったので、これからも相手の気持ちを考えて話したり行動したりしたいと思いました。周りの人たちがみんな笑顔になれるような人になりたいと思います。

本当にありがとうございました。



殴る・蹴るなど以外のデートDV			県内閣府の資料を基に作成
●携帯電話の着信履歴やメールをチェックする 	●「ばか」などと、傷つく呼び方をする 	●自分の予定を優先させないと無視したり、不機嫌になったりする 	
一方的に相手のプライバシーに入り込み、相手の人間関係を制限するのは暴力です	相手を傷つける言葉は暴力です	相手の気持ちや都合を考えず、自分と一緒にいることを相手に強要するのは暴力です	
●無理やり性的な行為をする 	●いつもおこらせる 	●思いどおりにならないと、どなつたり責めたり脅したりする 	
恋人同士でも、相手が嫌がっているのに無理やり性行為をすることは暴力です	交際相手の気持ちを考えず、いつもお金を払わせることも暴力になります	相手を精神的に追い詰めて自分に従わせようとするのは脅迫という暴力の一種です	